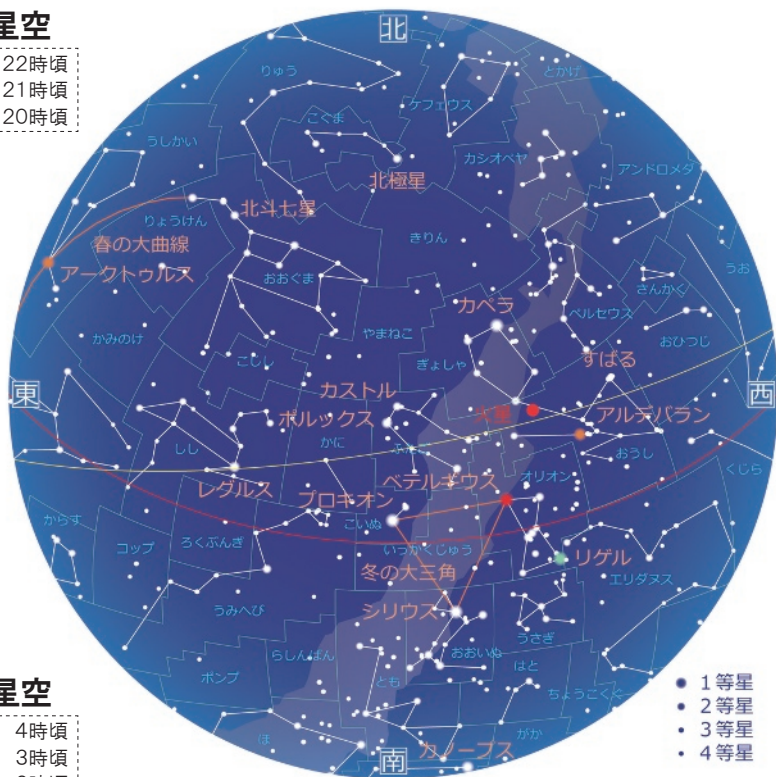


星空ガイド 2月16日～3月15日

よいの星空

2月16日22時頃
3月 1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

2月16日 4時頃
3月 1日 3時頃
15日 2時頃



【太陽と月の出入り(大阪)】

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
2	16	木	6:43	17:41	3:11	12:44	25.3
	21	火	6:37	17:46	7:25	18:51	0.8
	26	日	6:31	17:50	9:57	--:--	5.8
3	1	水	6:28	17:53	12:01	2:25	8.8
	6	月	6:21	17:57	16:44	5:54	13.8
	11	土	6:15	18:01	21:41	8:02	18.8
	15	水	6:09	18:05	1:01	10:35	22.8

※惑星は2023年3月1日の位置です。

宵の明星・金星に注目

宵の明星・金星が見ごろとなってきました。日没30分後での大阪での地平高度は、今年の1月1日はわずか8度でしたが、2月15日は20度、3月1日は23度、そして3月15日には26度と、少しずつ高度を上げていきます。このあと、7月下旬まで宵の明星として観望を楽しむことができます。

そのような中、金星に色々な天体が近づいて見えることがあります。2月22日の夕方には、金星と月齢2の細い月が近づき、その少し高い所には木星が輝いていて、とても賑やかです。

また、2月下旬から3月上旬にかけて、夕方の西空で金星と木星が近づいて見えます。特に3月2日の夕方は、二つの星が約0.5度角まで近づきます。これは満月の直径とほぼ同じですから、望遠鏡でも低倍率なら同一の視野に入るほどです。そして、二つの星の動きは早く、接近から10日後には10度程度まで離れてしまいますから、2月下旬から3月中頃までの期間に、日々変化する星の位置関係を続けて観察すると楽しいと思います。

嘉数 次人(科学館学芸員)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
2	19	日	雨水(太陽黄経330°)／月が最近(358,267km)
	20	月	●新月(16時)
	22	水	夕空に月と金星がならぶ
	23	木	天皇誕生日
	25	土	月と天王星が接近
	26	日	月とすばるがならぶ
	27	月	●上弦(17時)
	28	火	月と火星がならぶ

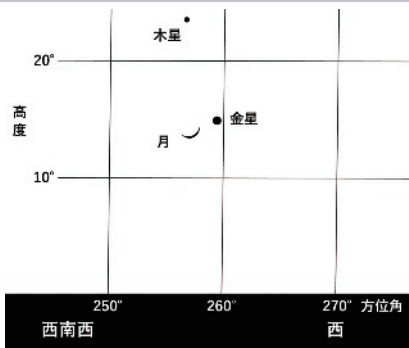


図:2月22日の日没1時間後の空

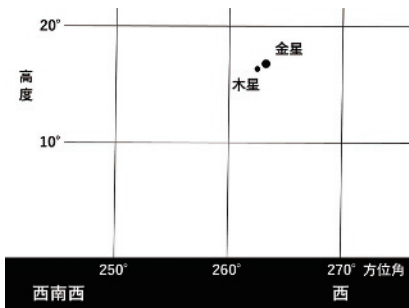


図:3月2日の日没1時間後の空

月	日	曜	主な天文現象など
3	2	木	夕空に金星と木星が接近
	3	金	月が最遠(405,889km)
	6	月	啓蟄(太陽黄経345°)
	7	火	○満月(22時)
	10	金	月とスピカがならぶ
	11	土	変光星さそり座RRが極大のころ
15	水	●下弦(11時)	